記入例①　日本人同士がイタリア方式で婚姻する場合

記入後に訂正、追記、または削除する場合は、修正テープを使わず訂正前の文字が読めるように2重線を引いてください。

婚　姻　届

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 届出

在ミラノ日本国　大 使 / 総領事　殿

受理	令和　年　月　日
第	号

公館印

書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知

		夫になる人	妻になる人
(1)	(よみかた) 氏名	さとう　えいすけ	やまだ　はなこ
	氏	佐藤	山田
	名	栄介	花子
	生年月日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日
(2)	住所	イタリア共和国ロンバルディア州ミラノ県	同　左
		ミラノ市イタリア大通り１番地	
	世帯主の氏名	佐藤　栄介	同　左
(3)	本籍（外国人のときは国籍だけを書いてください）	神奈川県横浜市	東京都世田谷区
		山下公園通り2　番地 番	代田橋1丁目29　番地 番
	筆頭者の氏名	佐藤　一郎	山田　勇太郎
	父母及び養父母の氏名 父母との続き柄（右記の養父母以外にも養父母がいる場合にはその他の欄に書いてください）	父 佐藤　一郎 / 母 花子 / 続き柄 長男	父 山田　勇太郎 / 母 悦子 / 続き柄 次女
		養父 / 養母 / 続き柄 養子	養父 / 養母 / 続き柄 養女
(4)	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	□夫の氏 □妻の氏	新本籍（左の☑の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください） 神奈川県横浜市山下公園通り2　番地 番 1
(5)	同居を始めたとき	令和 ○ 年 ○ 月（結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください）	
	初婚・再婚の別	☑初婚　再婚（□死別 □離別　年　月　日）	☑初婚　再婚（□死別 □離別　年　月　日）
(6) (7)	同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事と夫婦の職業	夫 妻 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯	
		夫 妻 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯	
		夫 ✓ 妻 3. 企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5）	
		夫 妻 4. 3にあてはまらない常用勤務者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5）	
		夫 妻 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯	
		夫 妻 ✓ 6. 仕事をしている者のいない世帯	
		（国勢調査の年…　年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください）	
		夫の職業	妻の職業
(8)	その他	令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日　イタリア共和国　の方式により婚姻成立、　同国、ミラノ市役所　作成の婚姻証書添付。	
	届出人署名（※押印は任意）	夫 佐藤栄介　印	妻 山田花子　印

事件簿番号	

（届出人の連絡先及び電話番号　+39 xxx-xxxxxxxx　メールアドレス　xxxx@mail.com　）

記入例①　日本人同士がイタリア方式で婚姻する場合

記入後に訂正、追記、または削除する場合は、修正テープを使わず訂正前の文字が読めるように2重線を引いてください。

婚　姻　届

受理　令和　年　月　日
第

ご来館日、郵送の場合は投函日を書いてください。

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 届出

大 使 殿
在ミラノ日本国 総領事

書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知

	夫になる人		妻になる人	
(よみかた)			やまだ	はなこ
	氏	名	氏	名
(1)	佐藤	栄介	山田	花子
	西暦 1900 年 ○ 月 ○ 日		和暦 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	
(2) 住所	イタリア共和国ロンバルディア州ミラノ県		同左	
	ミラノ市イタリア大通り 1 番地			
	世帯主の氏名 佐藤 栄介		世帯主の氏名 同左	
(3)	川県横浜市		東京都世田谷区代田橋 1丁目29	
	公園通り2	番地		番地 番
	佐藤 一	筆頭者氏名	山田 勇太郎	
養父母の氏名 父母との続き柄	父 佐藤 一郎	続き柄 長男	父 山田 勇太郎	続き柄 次女
	母 花子		母 悦子	
	養父	続き柄	養父	続き柄
	養母	養子	養母	養女
(4) 氏・新しい本籍	□夫の氏 □妻の氏	新本籍（左の☑の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください） 神奈川県横浜市山下公園通り2 番地 1 番		
同居を始めたとき	令和 ○ 年 ○ 月	（結婚式をあげたとき、また[illegible]民を始めたときのうち早いほうを書いて[illegible]）		
(5)	☑初婚 再婚（□死別 □離別 年 月 日）		☑初婚 再婚（[illegible]	
(6) 同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事と	夫 妻 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯			
(7)	夫 妻 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯			
	夫 ✓ 妻 3. 企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5）			
	夫 妻 4. 3にあてはまらない常用勤務者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5）			
	夫 妻 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯			
	夫 妻 ✓ 6. 仕事をしている者のいない世帯			
夫婦の職業	（国勢調査の年…　年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください）			
	夫の職業		妻の職業	
(8) その他	令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 イタリア共和国 の方式により婚姻成立、同国、ミラノ市役所 作成の婚姻証書添付。			
届出人署名（※押印は任意）	夫 佐藤 栄介 印		妻 山田 花子 印	
事件簿番号				

（届出人の連絡先及び電話番号 +39 xxx-xxxxxxxx　メールアドレス xxxx@mail.com ）

住所は、州、市町村の順に番地まで書いてください。

戸籍謄本に記載通りに記入。丁目や番地を「-」で省略しないでください。

外国人の氏名は、氏→名の順で記入し、氏名の間に「、」を入れてください。「・」は使用不可。ミドルネームはスペースを入れずお書きください。

持っている国籍をすべてお書きください。

国際結婚の場合はチェック欄記入不要です。

希望する新しい本籍地が現在の本籍地と異なる場合は日本の役所にその住所を本籍地とすることが可能かどうか、事前に確認してください。

当てはまる職業のカテゴリーに☑記入してください。

外国人配偶者の署名は不要です。

手書(楷書)でお書きください。コピー不可。印鑑(拇印)は任意です。

連絡先を忘れずにご記入ください。